

# オンライン授業に関する要望書

この『大阪府立大学 2020 年度前期授業および後期授業に関する要望書』は 2020 年 8 月 7 日～8 月 16 日に行ったアンケートをもとに作成し、同年 9 月 25 日に大学から回答がありました。

なお、アンケートは中百舌鳥・りんくうキャンパスを対象に行い、389 件の回答がありました。

内容とその回答の概要は以下の通りです。

## ①今年度前期の学校施設利用について

### 要望

今年度前期授業期間においての学校設備の利用制限は妥当な判断ではありましたが、しかし学校設備の利用が制限されたにも関わらず、学生の出費はコピー機による授業資料の印刷もあり例年並みか例年以上になっています。

そのため、当自治会は「学校設備維持費の一部返還」あるいは「今年度後期授業期間における図書館等学校施設の、十分な感染症対策を行ったうえでの開放」を要望しました。

### 回答

6 月 15 日より実験・実習などの対面授業を順次開始しています。授業回数やシラバスの変更もありますが、補講や課題などによって十分な学修時間を確保しています。

以上の理由から授業料等についての返金はいりません。

なお、学生が利用する施設については感染状況や社会情勢を見ながら、利用条件緩和の検討を続けます。

## ②後期授業の授業料について

### 要望

今年度前期授業において展開されたオンライン形式での授業について、学生アンケートでは 53.5% の学生が「不満」あるいは「どちらかと言えば不満」と回答しています。このことから授業の質は例年の授業形式より低かったと考えざるを得ません。この状況下では後期授業においても例年と同様の学習機会が担保されず、真に満足な学びを得ることが難しくなると予想されます。

そのため、「後期の授業料の一律減額」を要望しました。

### 回答

大学は新たにオンライン授業などの工夫を大学の負担で行っています。また、学生の状況もそれぞれ違うため、一律の対応は難しい状況です。

なお、特に経済的な負担が大きく学修が困難な学生には、国・府・民間の奨学金や大学独自の授業料の減免等の制度が設けられておりますので、ご相談頂ければと思います。

### ③遠隔授業に関してすべての教員に対するマニュアルの改善について

#### 要望 1

学生アンケートでは遠隔授業のうち同期型授業に関して、講義ごとに異なるアプリケーションの利用を求められ、混乱しているという意見が多く見られました。

そのため、「同期型の授業の場合は機能性と信頼性の確保されたアプリケーションを、すべての授業において一つ指定する」ことを要望しました。

#### 回答 1

後期授業では同期型ではなく、非同期型のオンライン授業を予定しています。それはアクセス集中によるサーバーへの負荷や通信障害等の不測の事態への懸念、感染予防のために各種施設の収容定員を縮減しておりキャンパス内で同期型のオンライン授業を受講することが困難であること、学生が自身のスタイルに合わせて受講できるようにするためです。

なお、特段の事情により同期型で授業を行う場合は大学がライセンス契約している Zoom もしくは Microsoft Teams の利用を想定しています。ただし、授業ごとに運営方法や教授方法は多岐にわたるため、特定のアプリケーションのみを指定することは行いません。

#### 要望 2

学生アンケートでは遠隔授業に関して、課題の量が過剰である上にそれに対して適切なフィードバックが行われていないという意見が多く見られました。また、課題の量が「多い」あるいは「どちらかと言えば多い」と回答した学生は 89.2%にも及び、さらに、後期に配慮すべき点または改善点は何かという質問に対して最も多かった回答は「課題の量」でした。

そのため、「授業の一環として課する課題の分量は、『必ず的確なフィードバックを行うことができる』量にする」ことを要望しました。

#### 回答 2

全学の教学会議である第 6 回教育企画運営会議（9 月 1 日開催）において教員に対し、学習成果に結びつかない課題は出さないことの依頼、課題以外による出席状況・学習状況の把握の方法の共有、提出物に対してフィードバックを行うことの依頼、授業支援システムの機能を利用したフィードバックの手法の共有、教員に過度に負担が集中しないフィードバックの方法の共有を行いました。

### 要望 3

学生アンケートでは遠隔授業のうち非同期型の授業に関して、授業によっては内容を理解するために十分な資料の配布のみを行い、詳細な学習を独力で行わなければならなかったという意見が多く見られました。

そのため、「非同期型の授業の場合は PDF 等の資料のみを配信する授業は原則禁止し、それに加えて内容の理解を助ける十分な音声ないし動画の配信を義務化し、それらのアップロード先を全学において一つ指定する」ことを要望しました。

### 回答 3

全学の教学会議である第 6 回教育企画運営会議（9 月 1 日開催）において教員に対し、可能な範囲で説明音声付き教材を掲載するよう依頼しました。

アップロード先については、授業支援システムの容量を確保するため、データサイズの大きなものはシステム外のサービスを利用するよう依頼しています。

### 要望 4

学生アンケートにおいて、期末試験を対面形式で実施することで学内に限らず通学中においても感染の可能性が懸念されるうえ、通学に時間を要する学生にとってはスケジュール管理にも支障をきたしているという意見が多数見られました。

そのため、「期末試験を行う際は対面での試験を原則禁止にし、試験内容を遠隔での実施に適したものに調整する」ことを要望しました。

### 回答 4

後期の試験の実施についてはこの冬の新型コロナウイルス感染状況を見て判断していきます。前期の期末試験での課題を整理したうえで、感染拡大防止のための対応を行いつつ学修成果を適切に評価できるような試験実施方法を検討していきます。